組織の脆弱性をゼロへ！

社員のセキュリティ意識を劇的に高める標的型攻撃メール訓練サービス

「知らなかった」では済まされない時代へ。

最新の脅威に合わせた実践的な訓練で、組織全体の防御力を底上げします。

1. なぜ今、標的型攻撃メール訓練が必要なのか？

【現代のセキュリティ脅威の現実】

- 生成ＡＩの悪用により、日本語として自然で違和感のない巧妙な詐欺メールが急増。
- セキュリティ機器（UTMやフィルタ）をすり抜ける攻撃手法の進化。
- たった1人のうっかりクリックからランサムウェア感染や情報漏洩へ。

【よくある組織の課題】

- 座学やｅラーニングだけでは、実務でのうっかりミスを防げない。
- 社員が怪しいメールに気づいても、どこに報告すべきか迷ってしまう。
- 経営層や情報システム部門が社員のセキュリティ脅威耐性を把握できていない。

【重要解説：メールによるランサムウェア感染の手口と対策】

メールによるランサムウェア感染は、業務連絡や緊急の警告を装って受信者を騙す手口です。実在の取引先を装う「標的型」や大量送信する「ばらまき型」があります。感染経路は主に2つです。1つは請求書や配送通知を装った添付ファイルの開封で、マクロの実行や偽装された拡張子によりウイルスが起動します。もう1つは本文内の不正URLのクリックで、偽サイトへ誘導され、アクセスしただけで、裏でプログラムが自動ダウンロードされます。

攻撃者は人間の焦りや信頼を悪用するため、不審なメールの添付やリンクは開かず、送信元へ別ルートで確認することが重要です。

2. 当社「標的型攻撃メール訓練サービス」の４つの特長

特長 01

トレンドを反映した訓練文面テンプレート

業務連絡、配送通知、パスワード変更リクエスト、サプライチェーンを装った攻撃など、実際に発生している最新の文面を作成できます。定期更新で新たな脅威に対応します。

特長 02

グループ別配信

全社一斉訓練から、部署別・役職別（経営陣、総務、IT部門、一般社員など）の個別シナリオまで柔軟に設定可能。
初心者の警戒心を高める基本レベルから、見分けがつきにくい内容での配信も可能。

特長 03

開封直後の「即時教育」で高い学習効果

うっかりリンクをクリックしてしまった直後に「訓練通知」＆「解説画面」を表示させることが可能。なぜ危険だったのか、どこに着目すべきだったのかをその場で教育し、行動変容を促します。

※スタンダードプラン以上

特長 04

可視化された分析レポート

開封率を可視化。単なる結果報告に留まらず、次回の施策やセキュリティ対策の強化案までプロの視点でフィードバックします。

林兼コンピューター株式会社
HAYASHIKANE COMPUTER Co., Ltd.

3. 実施可能な訓練パターン

訓練タイプ	目的・概要	想定されるシーン
URLクリック型	メール内の偽URLをクリックさせる	クラウドサービス（Microsoft365/Googleなど）へのログイン誘導や配送の追跡、見積書や請求書のダウンロード要求など
添付ファイル型	メールの添付ファイルを開かせる	請求書、注文書、履歴書などの業務関連ファイルの受信

4. サービス導入・訓練実施の流れ

ステップ	工程内容	詳細情報
STEP01	お打ち合わせ・企画	実施目的、対象人数、実施時期、訓練シナリオ（文面）の選定・カスタマイズを行います。
STEP02	事前準備・配信テスト	ポイント!! 配送元ドメインに関する、貴社内セキュリティ機器でのフィルタ回避設定（ホワイトリスト登録等）およびテスト送信を実施。 ※ご利用中のメールシステムによっては、フィルタ回避設定が想定通りの動作をしない場合もあります
STEP03	訓練メール配信	計画に基づき対象社員へ訓練メールを順次配信。リアルタイムで反応を集計します。
STEP04	結果集計ご提出	開封率の集計結果を提出します。

5. ご利用料金プラン（参考価格）

プラン名	対象人数規模	年間の訓練回数	標準価格（税抜）
ベーシック（教育コンテンツなし）	～500名まで	年1回	270,000円～
スタンダード おすすめ	**～500名まで**	**年2回（推奨）**	**480,000円～**
プレミアム	500名以上	例）年4回以上	別途お見積り

※対象人数や訓練回数に応じて個別お見積りいたします。
※当訓練サービスは株式会社SCC提供の「TrapFeel」を使用して実施します。（上記価格には「TrapFeel」1年間のご利用契約が含まれております）
※2年目以降も継続してご利用いただく場合、「TrapFeel」の契約更新（自動更新）の上、上記価格でご利用いただけます。

6. よくあるご質問（FAQ）

■ **Q．訓練実施にあたり、業務へ支障が出ないか心配です。**
Ａ．業務に過度な負荷を与えないよう、配信時間帯の調整やグループ分割配信が可能です。事前にお打ち合わせで調整いたします。

■ **Q．従業員へは事前に訓練のことを周知すべきですか？**
Ａ．初回実施時は「近々訓練を行う」旨を周知し、通報手順の確認を促す方法が効果的ですが、自社の現在地を把握するために、あえて事前周知しないケースもございます。

■ **Q．自社特有の業務文面を作成することはできますか？**
Ａ．はい、可能です。貴社の業務内容や実際のコミュニケーションツールに合わせたカスタマイズ文面の作成を承っております。

【ご相談・お見積りのご依頼・お問い合わせ】

林兼コンピューター株式会社
担当部署：技術部（担当：篠田・宮田）
TEL：083-242-0005 （受付時間：平日9:00～17:00）
Email： gr-infr-div@hcc-com.jp